

12 月 7 日 タジキスタンの地震

2015 年 12 月 7 日 16 時 50 分 (日本時間、以下同じ) に、タジキスタンの深さ 26km で Mw7.2 の地震が発生した。この地震はユーラシアプレートの地殻内で発生した。発震機構 (気象庁による CMT 解) は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震によりタジキスタン国内で、死者 2 人、負傷者 14 人などの被害が生じた。今回の地震は、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの境界から北に約 400km 離れた場所で発生した。今回の地震の震央周辺は、この二つのプレートの衝突の影響で、大きな被害を伴う地震がたびたび発生している。

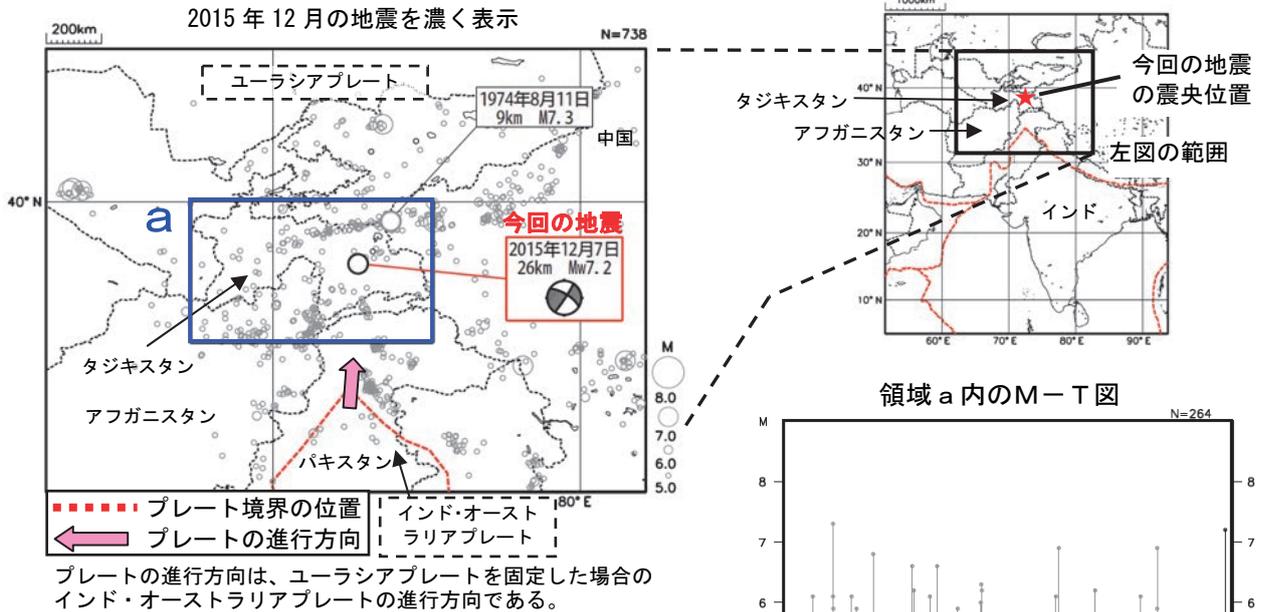
1970 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、タジキスタンの北東部から中国の西部にかけて地震活動が活発で、1974 年に M7.3 の地震が発生した。

1900 年以降の活動を見ると、1911 年に今回の地震とほぼ同じ場所で M7.3 の地震が発生している。この地震により、死者 90 人の被害が生じたほか、地すべりが発生し川がせき止められ、湖が形成された。また、今回の地震の震央から北西に約 200km 離れたタジキスタン中央北部で 1907 年に M7.4、1949 年に M7.5 の地震が発生し、それぞれ死者 15,000 人、12,000 人と大きな被害が生じた。

なお、気象庁は同日 17 時 19 分に遠地地震に関する情報 (津波の心配なし) を発表した。

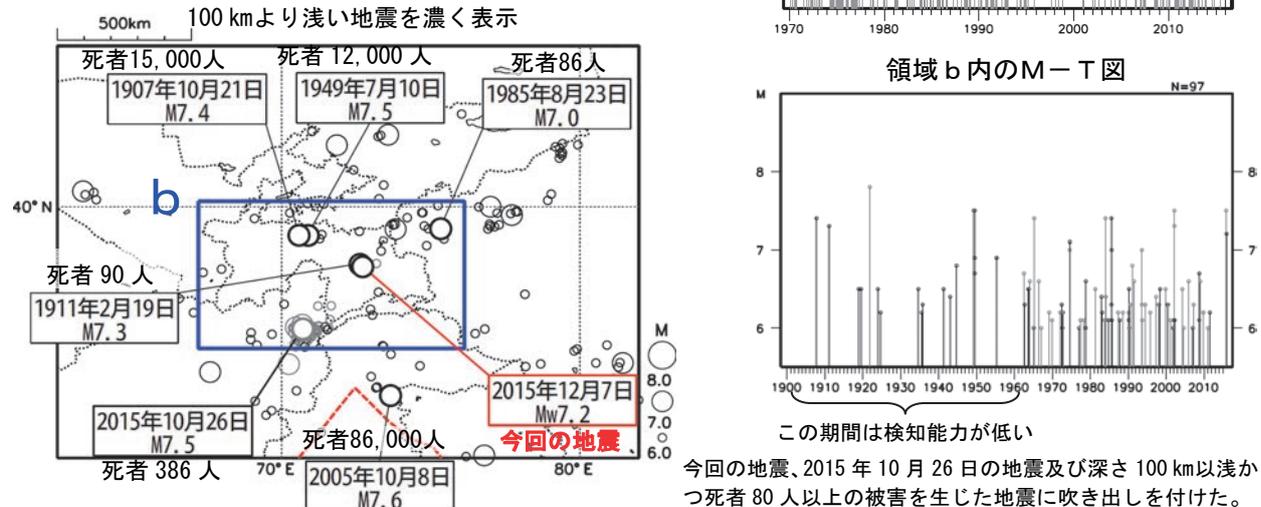
震央分布図

(1970 年 1 月 1 日~2015 年 12 月 31 日、深さ 0~100km、M≥5.0)



震央分布図

(1900 年 1 月 1 日~2015 年 12 月 31 日、深さ 0~300km、M≥6.0)



本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。上の震央分布図中の、地震の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2016 年 1 月 5 日現在)。下の震央分布図中の、1900 年~2009 年の地震の震源要素は国際地震センター (ISC)、2010 年以降の地震の震源要素は USGS による。被害等は、USGS、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、理科年表及び宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置は Bird (2003) *、進行方向は USGS による。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.